



次世代育成支援に関する

基礎調査結果をお知らせします

市では、平成22年度から26年度を計画期間とする、次世代育成を支援するための行動計画「後期計画」を策定します。今月は、この策定に向けて1月に実施した基礎調査結果の概要をお知らせします。

調査の回答数と回収率

地域住民の子育て支援に関する意見、要望や生活の実態などを把握するため、市内在住の未就学児（以下、乳幼児）の保護者と、小学校

児童以下小学生の保護者・3千人を対象にアンケート調査を行いました。その結果、2千4人回収率66.8%の方から回答をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

市長随想



狭山市長 仲川幸成
似顔絵・池原昭治氏

野々宮神社の雨乞い

梅雨が明けると日照りの夏がやってきます。

確か、4・5歳のころのことでした。

雨は欲しいが雨は降らない。

畑は作物が枯れ死寸前です。氏は相談のうえ、青梅の御嶽神社の御神水をもって、雨乞いをいたしました。

● 黙とうをささげましょう

広島(8月6日)と長崎(8月9日)に原爆が投下されて、今年で64年目を迎えます。市では、狭山市平和都市宣言の趣旨に沿って、原爆死亡者と、先の大戦による戦死者の霊を慰めるため、1分間の黙とうをささげます。

世界の恒久平和と犠牲者のめい福を祈り、皆さんも黙とうをお願いします。

原爆の日/日時8月6日 の8時15分からと8月9日 の11時2分から

終戦記念日/日時8月15日 、12時から

問合せ福祉課へ内線1512

● 指定管理者を公募します

平成22年度から、市民会館やサンパーク奥富などの施設の管理運営や維持管理などを行っていただく指定管理者を公募します。

公募施設/指定期間 狭山市市民会館/22年4月1日～27年3月31日 狭山市智光山公園テニスコート/22年4月1日～25年3月31日 市民健康文化センター サンパーク奥富/22年4月1日～26年3月31日 応募資格法人、その他の団体 募集要項などの取得方法は7月30日までに市民会館で直接取得 とはホームページからダウンロード 問合せは市民会館へ 2953-9101 は公園管理事務所へ 2953-5111 はサンパーク奥富へ 2969-3809

● 狭山市環境衛生連合会の役員が決まりました (敬称略)

役職名	氏名	地区名
会長	若津 昭	入間川
副会長	高橋 和子	入間川
副会長	土器 蘭 進	入 曽
副会長	三ツ木 嘉章	新狭山
幹事	上村 政義	入間川
幹事	中山 光治	入 曽
幹事	林 勇	入 曽
幹事	野中 国広	堀 兼
幹事	細田 健司	奥 富
幹事	神田 信雄	柏 原
幹事	永瀬 詔一	水 富
幹事	末村 仁	狭山台
幹事	笹川 勝司	狭山台
会計	桐原 文彦	水 富
監査	南部 靖喜	入間川
監査	福島 美登里	入 曽

問合せ生活環境課へ内線3682

■ 母親の就労状況

乳幼児の母親は60・4%が専業主婦、30・6%が就労パート、アルバイトを含む)しているのに対して、小学生の母親は38・1%が専業主婦、56・9%が就労しています。

■ 子育て支援サービスの認知度と利用希望

認知度は、乳幼児と小学生の保護者とも、児童館、母親学級が90%前後の高い認知度となっており、一方、利用希望は、児童館が70%前後、図書館事業が50%以上となっており、最近始まった事業では、パパママ応援ショップ優待カード

現在の子ども的人数と理想の子ども的人数 別表

調査年度	乳幼児の保護者		小学生の保護者	
	現在	理想	現在	理想
15年度	1.9人	2.6人	2.2人	2.7人
20年度	1.9人	2.8人	2.2人	2.7人

が80%を超える高い認知度となっています。また、小児救急電話相談事業は、50%以上の利用希望となっています。

■ 現在と理想の子どもの人数が異なる理由

現在の子どもの人数と理想の子どもの人数は、別表のとおりです。

なお、現在と理想の子どもの人数が違う理由は、乳幼児の保護者では、「子どもを育てるのにお金がかかる」が47・1%と最も多く、次いで「子育ての体力的問題」が20・4%、「年齢的理由で無理」が13・5%となっています。一方、小学生の保護者では、「子どもを育てるのにお金がかかる」が31・8%で最も多く、続いて「年齢的な理由や子育ての体力的な問題、家が狭い、教育をめぐる状況に不安などが理由となっています」。

■ 充実を希望する子育て支援策

乳幼児の保護者は、保育所や幼稚園の経費の軽減が80・7%と最も多く、次いで「親が安心して働けるよう保育所や学童保育室を増やして欲しい」が59・6%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」が53・2%となっています。また、小学生の保護者では、「安心して子どもが医療機関にかかれ

る体制」が57・1%と最も多く、続いて、保育所や幼稚園にかかる経費の軽減、保育所や学童保育室などの施設の増設、子育てに困ったときに相談したり情報を得られる場の設置などとなっています。

■ 調査結果を踏まえ

後期計画を策定します

今回の調査結果を踏まえ、次の事項に留意して、地域協議会子育て中の保護者や関係団体、保健福祉関係者などで構成)や、市職員で構成する庁内連絡会議と連携を図りながら、後期計画を策定していきます。

【視点】 子どもの幸せ 次世代の親づくり サービス利用者 社会全体による支援 仕事と生活の調和の実現 すべての子どもと家庭の支援 地域における社会資源の効果的活用 サービスの質 地域特性

【主な検討事項】 地域における子育ての支援 母性と乳幼児の健康確保と推進 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備 子育てを支援する生活環境の整備 職業生活と家庭生活との両立の推進など

問合せ子育て支援課へ

内線1534

市長の主な動き

6/1...定例記者会見 6/2...笹井・根岸圏央道周辺整備推進協議会総会 6/3・4・12・16...新型インフルエンザ危機対策会議 6/5~22...市議会第2回定例会 6/21...あじさい祭り並びに国際交流の集い 6/25...定例庁議 6/26...制度融資審査会 6/27...川越総合卸売市場(株)定時株主総会 6/29...基地対策協議会総会 6/30...第3回埼玉県都市競艇組合議会臨時会



祝 都市対抗野球大会出場
ホンダ硬式野球部

二人の若者が自転車で御嶽山を参拝のうえ、雨乞いの井戸からくみ上げた水を竹筒に入れて持ち帰ります。途中で休憩すると、そこに雨が降ってしまつと言われておりました。

野々宮神社では、雨乞い用の平樽に水を満たし、4本の竹にしめ縄を張って結界を作り、神社祈禱の後、竹筒に入れた水を樽に注ぎます。そして、裸禪姿の氏子の若者が、水浴びをしたりかけ合ったりしていた光景を今でも覚えています。

神徳を得て雨が降ると、雨降り正月の言い継ぎ(口頭回覧)により、その日の午後は農休日となりました。

戦後、柏原の智光山九頭龍でも行われていたとのことですが、この光景を記憶している人も数少なくなりました。